【実施区域・面積】

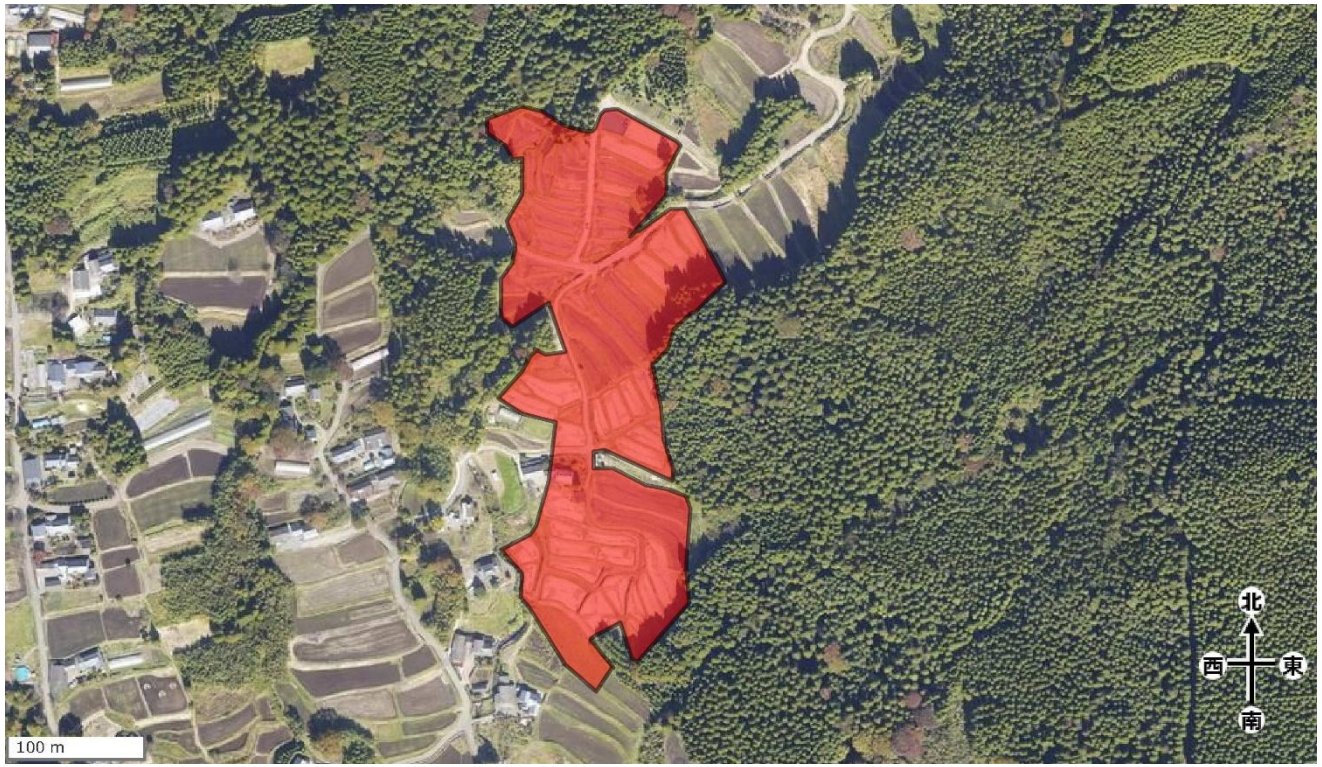
熊本県阿蘇市山田・4.13ha

【生態系タイプ】

農地（水田）

【実施区域の状況】

申請区域全体では植物326種、動物206種が出現し、環境省レッドリストまたは熊本県レッドリストに掲載された重要種として植物8種、哺乳類1種、鳥類1種、両生類3種、昆虫類9種、クモ類2種、貝類1種、合計17種が確認されている。
調査時期：植物／夏・秋・春、動物／夏・秋・冬・春



出典：国土地理院ウェブサイト（https://maps.gsi.go.jp/）

【目標】

阿蘇火山カルデラ外輪壁における「再生した二次的自然環境（棚田の水田生態系）」を将来にわたり維持し、周囲に広がる二次草原生態系とともに地域特有の生物多様性の保全を図る。また、地下水涵養機能やレクレーション機能といった生態系サービスの維持、増大を図る。

【主な活動内容】

・毎年の水田耕作による湛水事業

・生物多様性を重視し減農薬、有機肥料にて耕作

【モニタリング計画】

・基本的に5年に1度の頻度で実施

・モニタリングの実施年の4～5月、8月、10～11月、12～2月に実施

【実施体制】

・肥後の水とみどりの愛護基金が中心となって実施　・(株)肥後銀行が資金面、人員面で支援

・種同定や分析、計画立案は有識者（熊本大学皆川教授、伊東特別研究員）が補助

【計画期間】

2026年3月～2031年2月